

学力向上を図るための全体計画

教育目標

人間尊重の精神に根ざし、これからの時代を主体的に生きる、心豊かでたくましい人間を育成する。全ての生命を愛し、相互に認め合う心情を養い、多様な価値観に共感できる「共生社会」の担い手として、豊かに生きる人間の育成を目指し、次の目標を設定する。

「学び合い・心豊かに・たくましく」

「学び合い」を重点目標とする。



学校経営計画

【学び合い】・・・主体的・対話的で深い学びの実践に向けた授業改善



永山小学校における「身に付けさせたい学力」のための具体的方策

- 1 学習内容の理解を促し、基礎基本となる学力の向上と定着を図る。
 - 「ことば」に着目し、「伝え合い・対話的な活動」を通して児童の話す・聞く力を育む。
 - 「ESD」の視点に立ち、教科等を横断的に捉えながら指導を展開する。
 - 学習のめあてを明確にし、見通しをもたせ、振り返りを工夫することで、「考える力」を育む。
 - 児童の学習状況や習熟度・変容等を把握し、日々の指導に絶えずフィードバックする。
 - 一人1台端末等ICTの効果的な活用を図り、個々の学びと共有する場での学びの充実を図る。
- 2 学習習慣の定着を図り、児童が自ら・粘り強く学習する意欲と態度を育む。
 - 朝学習や個別指導では、個別のかつ補習的な観点で意図的、計画的に指導や支援を進める。
 - 読書活動の活性化を図る。読書習慣の確立と「習得・活用・探究」の学びの過程の充実を図る。
 - 保護者との連携や協力を基にし、家庭での学習習慣の確立・定着を図る。



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	指導内容 指導方法の工夫	校内における 研究や研修の工夫
○行事の精選による授業時数の確保 ○効果的な指導計画の工夫 ○年間の授業日数の確保 ○学習指導要領の円滑な実施に向け学年ごとの系統的な学習を積み重ねる。	○評価規準の再確認 ○評価方法の共通理解及び、即時評価と指導・支援のフィードバック	○基礎基本の徹底（「東京ベーシック・ドリル」の活用） ○言語能力の伸長（朝のことばの時間の活用） ○問題解決学習の充実 ○体験活動の効果的な位置付け（地域人材の活用） ○少人数指導による個に応じた授業の充実（習熟度別学習） ○ピアティーチャーや学生ボランティアの効果的な活用 ○ユニバーサルデザインの視点を生かした支援と環境づくり ○タブレット端末を活用した学びの充実	○言語活動の充実（読む力・話す力・書く力・聞く力を伸ばすための授業づくり） ○校内研究を核とした授業実践 ○管理職の授業観察による授業改善 ○交流活動の実践と活用 ○ICTを活用した授業の研修 ○OJTによる教員の指導力向上 ○専門性を生かした実技研修 ○特別支援学級・教室の実践を生かした指導方法の研修